

タイ・フィリピン・宮城・カンボジア各国の、その時々ホットなニュースをお届けします♪



C4Cだより

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-45-1-302
TEL:06-6622-5645 / FAX:06-6621-7139
メール:community_4_children@yahoo.co.jp
HP:https://www.community4children.com/

カンボジア / 2024年2月16日～20日 コミュニティ図書館を視察してきました！

これまで何度かC4Cだよりでもご紹介したカンボジア・チュロイスナオ村を訪問しました。2022年11月から村人たちが主体となって、コミュニティ図書館建設のために、様々な分野の人々から寄付集めの活動を行いました。その活動を知ったC4Cも日本で建設のための寄付を募りました。そして2023年5月に図書館は無事完成しました。その図書館の公的な開所式にC4C理事と一般参加者総勢5名が参加しました。

開所式では、地元自治体や役所、ローカルNGO、学校、村コミュニティ、子ども会から人々が集まり、テープカットを行い、小学校の校庭で食事をともにしました。周辺村4か村の子ども会からも数名ずつ集まり、出席した人々に子ども会活動を紹介するパネル展示を行いました。



「ものこ文庫」さまからC4Cに寄贈された中古絵本も40冊ほどをクメール語に翻訳し、寄贈しました。また代表者が今回の視察旅行にも参加され、用意した折り紙、絵本、紙芝居などを子どもたちの前で演じてくださいました。日本語で伝えても、子どもたちはとても喜び、言葉以外のコミュニケーション手段でもこれほど楽しむことができるのかと、とても印象に残りました。

子どもたちは、とにかく元気に走り回り、積極的に話しかけてくるので(クメール語で)私たちはタジタジでした。村人たちも優しく受け入れてくれ、心温まる歓迎でした。村の周りを舟で回り、毎年冠水する島のような村を実感し、雨季にはもっと移動が大変になるのだと思い、村人や子どもたちの生活の困難さも一部見ることができました。特に短い時間でしたが、ベトナム系の住人の船上家屋を訪問しお話を聞いたことも貴重な体験です。

(2ページ目につづく)

図書館では読んだり書いたり、好きなことをして過ごしています

村の自慢のお魚を使った家庭料理！





また発起人の一人である村人の言葉がとても印象的でした。「子どもたちには、『夢を持って、その夢の実現のために努力すれば、きっと実現できる』と言っているのに、自分はコミュニティ図書館が本当にできるとは最初信じていなかった。子どもたちやコミュニティのために図書館が欲しいとは考えていたが、計画が具体化すればするほど予算額が高価になり、自分にはそんなお金を集めることができないと思ったが、次から次へといろいろな人々が募金活動に参加し、子どもたちも村々を回って寄付を集めてくれた。そしてこんな立派な図書館ができた。感動した。大人になっても夢を実現することができるんだと子どもたちに教えてもらった」。

今回のコミュニティ図書館建設事業は、「子どもたちの夢の実現(図書館が欲しい!）」に向けて、行政、民間、国内外、そして大人も子どもたちも巻き込んで協力し合った結果、成功しました。このような事例をもっと他のコミュニティにも知ってもらうためにも、地元NGOであるKCDと協力しながら、これからコミュニティ・ベースの事業を引き続き応援していきたいと考えています。(加藤)



キャンプファイヤーも行いました!



カンボジア/ 子どもたちのための環境教育事業(草木染研修)が無事終了しました!

2023年度大阪コミュニティ財団の『がっこう基金』から助成を受けて、草木染を通じた環境教育を実施しました。C4Cではタイで有機農業や草木染を含む自然の適正な利用を勧めています。

カンボジアでは急速な経済発展のため、様々な商品が市場に並び、人々の消費願望を刺激しています。同時にゴミの量は増え続け、人々の自然環境や健康にも危険が及ぶほどです。特にプラスチックごみの問題はとても深刻です。

そこで環境を学ぶ一つの方法として、草木染を取り入れ、子どもの頃から環境問題に気づいてもらおうと草木染研修を行いました。この事業はC4Cと協働する現地のタイ人スタッフたちの協力を得て、カンボジア人農民とスタッフが、地勢や気候が類似するタイで草木染を学び、彼らがカンボジアのローカルスタッフに伝え、村の子どもたちに伝える国際交流事業です。

村での子どもたちとともにいった研修では、まず自分たちのコミュニティの課題を話し合い、中でも環境の課題は重要であることを確認した後、草木染の意義を学び、身近な木の葉や樹皮で実際に染めを行いました。

身近な植物を使ってTシャツを染めることは、子どもたちにとって初めての体験で、驚きで目を見張りながら楽しんでいました。環境教育として、C4Cでは、他にも小学校の学校庭園を造る支援も行い、無農薬で野菜を育てることで、安全な食と健康について教師とともに学びの場を提供しています。現地連携団体と共同で今後も草木染を含む環境教育の場を広げていく予定です。(加藤)



宮城 / 防災レシピカレンダー2024 好評販売中！

2年目となる防災レシピカレンダー製作。2024年版も2023年11月に無事完成し、HumanBeingのホームページや講座・イベントの際などにて販売をおこなってまいりました。



2024年3月・4月に、製作に携わってくださった宮城学院女子大学ボランティアサークル Food and Smile!と東六郷・東部かあちゃん'ずの皆さんに、売上の一部を寄付としてお届けいたしました。ご購入いただきました、また周知にご協力いただきました皆さまに、心より御礼申し上げます。(カレンダーはまだ若干数在庫がありますので、ご希望の場合はHumanBeingホームページよりお問合せください。https://www.officehb.net/)



2025年カレンダーも製作に向けて動き出しています。製作状況を随時発信していきますので、HumanBeingのホームページやSNSをぜひご覧いただけますと幸いです。(菅原)

【報告】 I Do Cafe Vol.19 「美味しく」「楽しく」作ろう！ ～普段の料理にも活かせる防災レシピ・クッキング～ を開催しました！



2023年11月25日(土)、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会様ご協力のもと滋賀県立長寿社会福祉センター調理室をお借りし、防災レシピ・クッキングを行いました。ご家族やご友人同士でのご参加もあり、関係者合わせて17名が集いました。



今回、宮城学院女子大学ボランティアサークルFood and Smile!(FAS)で活動するお2人をゲストに迎え、現地連携団体HumanBeing(宮城県)製作「防災レシピカレンダー2024」の11月掲載レシピ2品を教えていただきました。



『包丁もまな板も使わない！きのこピラフ』は、食材と調味料をポリ袋に入れて混ぜ合わせ、あとは湯煎し炊き上がるのを待つだけ！『簡単！魚肉ソーセージと丸ごとかぶのサラダ』も、食材をカットした後は、すべてポリ袋の中で調理が完成しました。どちらのレシピも、ポリ袋で調理できるため洗い物もほとんど出ず、とても簡単で小さな子どもたちも一緒に調理することができました。



調理の後は、みんなで美食。「美味しい！」の声や、「調味料を変えたら和風も作れそう」など、アレンジレシピのアイデアがあがっているテーブルもありました。また、それぞれの活動や近況を聞いたり、交流の時間にもなりました。

久しぶりの対面でのI Do Cafeでしたが、参加者の皆さんの「美味しい！」の声や、子どもたちが楽しそうに、そして一生懸命に調理している様子が、とても嬉しく印象に残った時間でした。

ご参加くださった皆さま、開催にあたってご協力くださった関係者の皆さま、ありがとうございました！

代表の つぶやき

今回のお便りには、コミュニティ図書館、子どもたちの環境教育、防災レシピカレンダー、「I Do Cafe」といづれも、つながる場・機会づくりとその場の活性化のニュースをお届けしています。

いづれも、それぞれの国や地域で、子どもや若者を始め、地域の皆さんの成長や学び、地域づくりに取ってプラスになることは何かを、対話を重ね、現実的で実現性があり、持続可能な取り組みとするために、地域の関係者と現地団体、私たちも加わって進めてきました。

こう言った協力・協働し合う環境づくりは、コミュニティワークそのものです。私たちのカウンタートパートである現地団体は、常に各地域で起こっているさまざまな地域生活課題や夢や希望を持てるコミュニティづくりを住民の皆さんが主体的に、また組織的に取り組めるよう支援しています。そのために必要なノウハウであったり、財源、人材を発見したり、開発しています。

C4Cでは、各国、各地での小さなチャレンジの過程につながり、共にゴールに向かって協力・協働していただけるサポーターを常に求めています。皆さんの興味・関心を入りにぜひノックして下さい。笑顔でお迎えます。